作成日　2023 年 3 月 27 日

安全データシート（SDS）

1. 製品情報及び会社情報

製品名	：	業務用台所中性洗剤　バブリー
会社名	：	ウエルシー製薬株式会社
所在地	：	〒658-0047 兵庫県神戸市東灘区御影 3-2-11-11
担当者名	：	品質管理部
電話番号	：	078-843-1212
ＦＡＸ番号	：	078-336-3606
緊急連絡先	：	所在地と同じ
推奨用途及び使用上の制限	：	
整理番号	：	WE8544

2. 危険有害性の要約

最重要危険有害性及び影響　：　眼刺激

GHS 分類　：

物理化学的危険性　区分外

健康に対する有害性

急性毒性（経口）	区分外
急性毒性（経皮）	区分 5
急性毒性（吸入:ガス）	分類対象外
急性毒性（吸入:蒸気）	分類できない
急性毒性（吸入:粉塵、ミスト）	分類できない
皮膚侵食性/刺激性	区分外
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分２A
呼吸器感作性	区分外
皮膚感作性	区分外
生殖細胞変異性原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	分類できない
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	分類できない
吸引性呼吸器有害性	分類できない

環境に対する有害性

水生環境有害性・急性	区分外
水星環境有害性・慢性	区分外
オゾン破壊物質	分類できない

ラベル要素

絵表示

注意喚起語	:	警告
危険有害性情報	:	重篤な眼への刺激
	:	皮膚に接触すると有害のおそれ
注意書き	:	

【予防策】

取扱い後はよく洗うこと。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

環境への放出は避けること。

【対応】

眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。

その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当をうけること。

【保管】

密閉容器中に保管すること。

【廃棄】

内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別	:	混合物（水溶液）
官報公示整理番号（化審法）	:	有り
官報公示整理番号（安衛法）	:	既存
成分および還流量	:	
食品衛生法	:	洗浄剤（野菜・果物・食器・調理器具用）

成分	含有量	CAS 番号
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸	13%	68584-22-5
PH 調整剤	非開示	非開示
水	86%	7732-18-5

4. 応急処置

皮膚に付着した場合 ： 多量の水および石鹸で洗い流す。 症状が出た場合には、必要に応じて医師の診断を受ける。

目に入った場合 ： 直ちに静浄な流水で 15 分以上洗顔した後、 医師の処置を受ける。 水で口の中を洗浄し、 コップ 1 から 2 杯の水 または牛乳を飲ませる。 直ちに医師の処置を受ける。 被災者に意識がない場合には、 口から何も与えてはならない。

応急措置をするものの保護 ： 情報無し

医師に対する特別注意事項 ： 情報無し

5. 火災時の措置

消火剤 ： 粉末消火薬剤、水溶性液体用泡消火薬剤、 二酸化炭素、 砂、霧状水

使ってはならない消火剤 ： 情報無し

特有の危険有害性 ： 情報無し

特有の消火方法 ： 火元への燃料源を断ち消火剤を使用して消化する。 消火活動は可能な限り風上から行う。

消火を行う者の保護 ： 消火作業では保護具（手袋・眼鏡・マスクなど）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 保護具及び緊急措置 ： 可能な限り保護具（手袋・眼鏡・マスクなど）を着用し、作業は風上から行う。

環境に対する注意事項 ： 本剤を廃棄する場合、流水下にて希釈する事。

除去方法 ： 多量の場合は土砂等の不燃物で囲って流出を防止し、 スコップまたは吸引機などで空容器に回収する。 回収後の残留物は土砂ま又はおがくず等に吸収させる。 残留物がごく少量の場合は大量の水で洗い流す。 少量の場合は吸着剤（おがくず・土・砂・ウエス等） で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、

雑巾等でよく拭き取る。

二次被害の防止策　：　情報無し

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い

技術的対策　：　保護眼鏡、保護手袋などの適切な保護具を着用し、直接の接触を防ぐ。容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え又は引きずるなどの乱暴な取り扱いをしてはならない。

注意事項　：　空容器は適切に管理し又はそれを廃棄する場合は残留物のない事に留意する。作業場の換気を充分に行う。

安全取扱い注意事項　：　取り扱いは、漏れ、あふれ、飛散しないように注意し、皮膚や粘膜に触れたり、目に入らないように注意する。取扱い後は、手、顔などをよく洗い、うがいをする。

保管

適切な保管条件　：　直射日光を避け風通しの良い屋内冷暗所に密封して保管する。

安全な容器包装材料　：　接液部は樹脂製の容器が良い。

8. 暴露防止および保護措置

設備対策　：　できるだけ完全密閉された装置を使用し、全体換気を適正に行うことが望ましい。上記またはヒュームやミストが発生する場合は局所排気装置を設置する。作業場に洗眼、洗身設備等を設置する。

許容濃度

管理濃度　：

許容濃度

日本産業衛生学会　：　設定されていない（2013 年度版）

ACGIH　：　設定されていない（2007 年度版）

保護具

呼吸器の保護具　：　状況に応じて着用

手の保護具　：　不浸透性保護手袋

目の保護具　：　側面付き保護眼鏡

皮膚および身体の保護具：　長袖作業衣、ゴム長靴

適切な衛生対策　：　情報無し

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態

形状	:	液体（30℃）
色	:	黄色
臭い	:	わずかに特異なにおい
臭いの閾値	:	データ無し
pH（測定条件）	:	7.0～8.0

物理的状態が変化する特定の温度/温度範囲

沸点	:	約 100℃（水）
融点	:	0℃以上
引火点（測定方法）	:	無し（水分蒸発後は燃える）【セタ密閉式測定器】
蒸発速度	:	データ無し
燃焼性（固体、ガス）	:	データ無し
燃焼又は爆発特性	:	データ無し
燃焼又は爆発限界 上限 下限		上限：示さず　下限：示さず
蒸気圧	:	データ無し
蒸気密度	:	データ無し
比重	:	1.01～1.05（25℃）
溶解度 ： 水溶解性	:	可溶
溶媒溶解性	:	データ無し
n-オクタノール/水分配係数	:	データ無し
発火点	:	データ無し
自然発火温度	:	データ無し
分解温度	:	データ無し
その他のデータ	:	データ無し

10. 安全性及び反応性

安定性	:	通常の取り扱いでは安定である。
反応性	:	自己反応性はない。
避けるべき条件	:	高温多湿
避けるべき材料	:	情報無し
混触危険物質	:	強酸化剤、 腐食性液体・ガスとの接触
危険有害な分解生成物	:	情報無し
その他	:	情報無し

11. 有害性情報

急性毒性（経口）	：	直鎖ｱﾙｷﾙﾍﾞﾝｾﾞﾙｽﾙﾎﾝ酸（ラット）650mg/kg
急性毒性（経皮）	：	情報無し
急性毒性（吸入：ガス）	：	情報無し
急性毒性（吸入：蒸気）	：	情報無し
急性毒性（吸入：粉塵、ミスト）	：	情報無し
皮膚腐食性/刺激性	：	蒸気吸入、 皮膚への付着は腐食性を　　示す;2　皮膚への接触は激しい痛みと薬粧を起こす区分;2
眼に対する重篤な損傷/刺激性	：	直鎖ｱﾙｷﾙﾍﾞﾝｾﾞﾙｽﾙﾎﾝ酸目への接触は激しい痛みと薬傷を引き起こす区分;2
呼吸器感作性又は皮膚感作	：	情報無し
生殖細胞変異原性	：	情報無し
発がん性	：	情報無し
IARC	：	記載無し
NTP	：	記載無し
日本産業衛生学会	：	記載無し
生殖毒性	：	情報無し
特定標的臓器・ 全身毒性-単回暴露	：	情報無し
特定標的臓器・ 全身毒性-反応暴露	：	情報無し
吸引性呼吸器有害性	：	情報無し

12. 環境影響情報

生態毒性	：	直鎖ｱﾙｷﾙﾍﾞﾝｾﾞﾙｽﾙﾎﾝ酸 ミジンコ EC50(48)3.5mg/L
残留性/分解性	：	直鎖ｱﾙｷﾙﾍﾞﾝｾﾞﾙｽﾙﾎﾝ酸 活性汚泥濃度;30ppm、 被危険物濃度;100ppm 試験期間; 4 週間、分解率;73%(BOD)
生体蓄積性	：	直鎖ｱﾙｷﾙﾍﾞﾝｾﾞﾙｽﾙﾎﾝ酸　 生体蓄積定数（BCF）;約 10 この数値は水生生物に対して蓄積性は低いと考えられる。
土壌中の移動性	：	直鎖ｱﾙｷﾙﾍﾞﾝｾﾞﾙｽﾙﾎﾝ酸; 土着吸着定数(KOC);約 10
オゾン層への有害性	：	情報無し
その他	：	

13. 廃棄上の注意　　“取扱い及び保管上の注意“の章を参照

残余廃棄物: おが屑等に混ぜて 焼却炉で少しずつ焼却処理するか、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。

汚染容器・包装: 空の汚染容器・包装を廃棄する場合、 内容物を除

去した後に、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者と契約し、廃棄物処理法（廃棄物及び清掃に関する法律)、及び関係法規・法令を遵守して適正に処理する。

14. 輸送上の注意

国内規制　陸上輸送: 消防法、労働安全衛生法等に定められている運送法法に従う。

海上輸送: 船舶安全法に定められている運送方法に従う。

航空輸送: 航空法に定められている運送方法に従う。

国際規則　航空輸送は IATA 及び海上輸送は IMDG の規則に従う。

国連分類・国連番号

陸上輸送（ADR/RID の規則に従う）

国連番号	: 該当せず
品名	:
国連危険物分類	:
容器等級	:

海上輸送（IMO の 規則に従う）

国連番号	: 該当せず
品名	:
国連危険物分類	:
容器等級	:
海洋汚染物質	: 該当せず
IBC コード	:

航空輸送（ICAO/IATA の規則に従う）

国連番号	: 該当せず
品名	:
国連危険物分類	:
容器等級	:

輸送の特定の安全対策および条件　”漏出時の措置“を参照

輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

直射日光を避ける。

該当法規に従い、包装、表示、輸送を行う。

緊急時応急措置指針番号

15. 適用法令

国内適用法令：

化学物質排出把握管理促進法:	第一種指定化学物質　407：ﾎﾟﾘ(ｵｷｼｴﾁﾚﾝ)=ｱﾙｷﾙｴｰﾃﾙ 1%
化審法(特定化学物質、監視化学物質):	該当せず
労働安全衛生法:	該当せず
毒劇物取締法:	該当せず
消防法:	該当せず
高圧ガス保安法:	該当せず
火薬類取締法:	該当せず
船舶安全法:	該当せず
航空法:	該当せず

その他の法令

物質登録情報:	ENCS(Japan)	収載（7－114）
	TSCA(USA)	収載
	EINECS(EA)	ポリマー 定義に該当
	AICS(Australia)	収載
	DSL(Canada)	収載
	ECL(Korea)	収載
	PICCS(Philippines)	収載
	IECSC(China)	収載

16. その他の情報

・GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方-ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)(JIS Z 7253:2012)

・国際化学物質安全性カード（ICSC） コンパイラーズガイド　日本語版国立衛生試験所化学物質情報部編、 化学工業日報社、1994 年

・ 製品安全データシートの作成指針（改訂版） 厚生労働省医薬局審査管理課化学物質安全対策室・ 厚生労働省労働安全局安全衛生部化学物質調査課・ 経済産業省製造産業局化学物質管理課・ 環境省環境保健部環境安全課監修、（社）日本化学工業協会

・ 日本レスポンシブル・ ケア協議会、平成 13 年 10 月

・ 日本界面活性剤工業会、SRA-GHS 分類判定(2006.2)

・ 日本解明活性剤工業会、MSDS 作成ガイドラインと使用製品の標準 MSDS モデル（平成 13 年 11 月）

・（社）日本化学工業会、GHS 対応ガイドライン暫定版 製品安全データシートの作成指針改定 2 版、平成 18 年 5 月

・(株) 三菱総合研究所、平成 19 年度 経済産業省委託事業　GHS 分類基準等の基盤整備事業報告書、平成 20 年 3 月

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。 すべての化学製品には未知の有害性が有り得るため、 取り扱いには細心の注意が必要です。御使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願いいたします。また特別な取扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上でご使用ください。当安全データシートは、日本国内法規を基準に作成したものです。